

# 警 防 業 務 の 実 施 状 況

平成29年中、火災は31件発生しており、前年の34件より3件減少しています。

火災種別では、建物火災、その他火災が各13件と最も多く発生しており、次いで林野火災3件、車両火災、船舶火災が各1件の順となっています。

火災による損害額は24,467千円で、火災件数の減少に伴い昨年よりも33,759千円少なくなっています。

火災による負傷者が4名発生しており、内1名が30日以内の死亡となっております。

(統計上は、火災による死者には取扱われません。)

町別の火災発生件数は、日高川町が9件で最も多く、次いでみなべ町が8件、印南町が5件、日高町が4件、美浜町が3件、由良町が2件の順となっています。

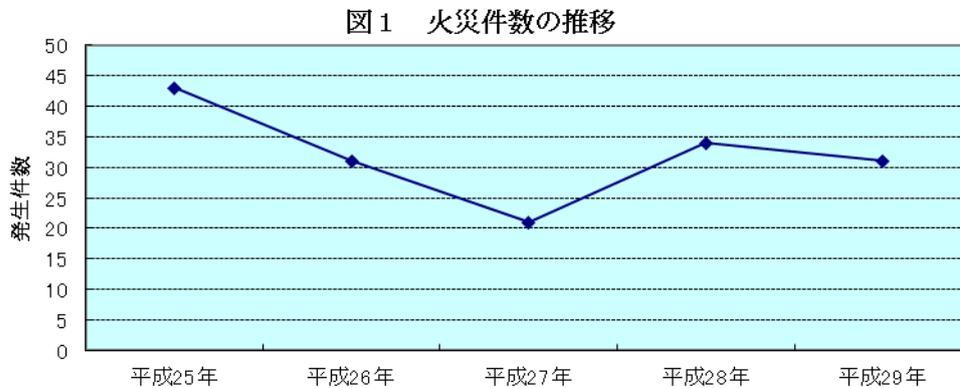
また、火災に準ずる災害(その他災害等)は、420件で昨年より62件増加しています。出動種別では、救急支援出動が364件と全体の約87%を占めています。

## 1 火災の概要(第1表～第10表)

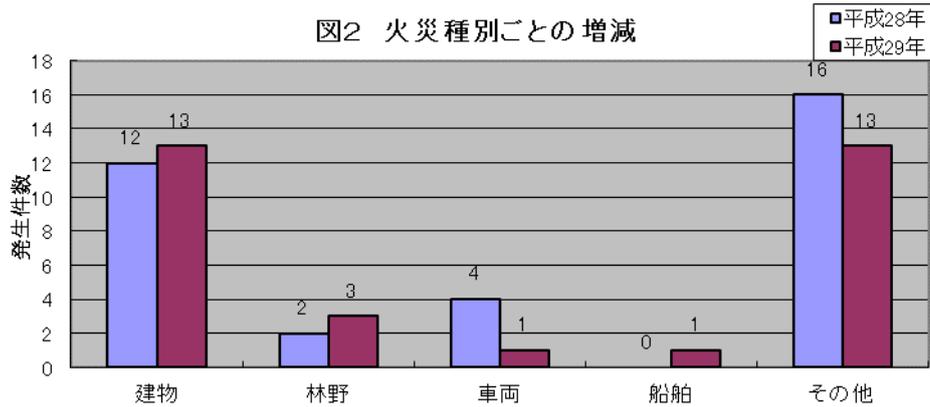
### (1) 火災件数の増減(第1表)

平成29年中の火災件数は31件で、前年に比べ3件の減少となっています。

(図1)



これを火災種別で見ると、建物火災が13件(1件増加)、林野火災が3件(1件増加)、車両火災が1件(3件減少)、船舶火災が1件(1件増加)、その他火災が13件(3件減少)となっています。(図2)



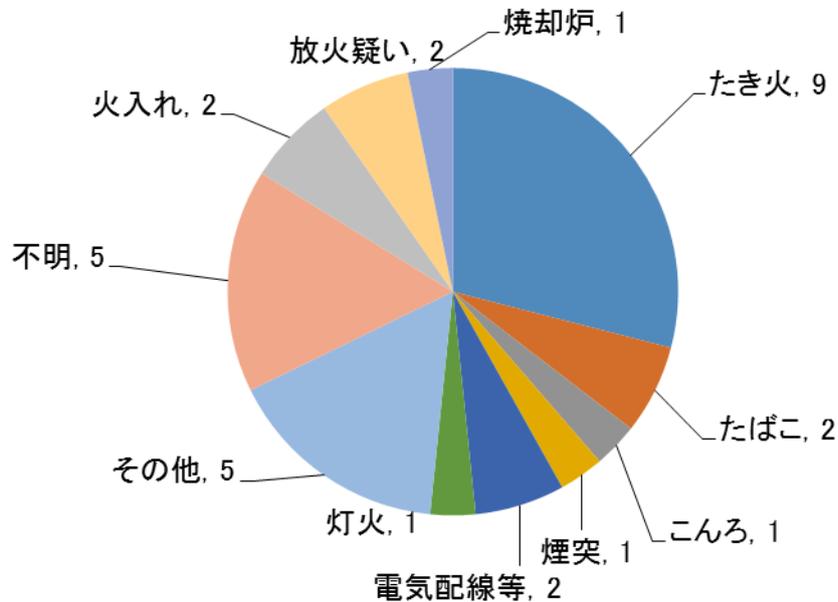
建物焼損棟数は18棟で、前年(16棟)に比べ2棟増加しているにもかかわらず、建物火災による損害額は23,986千円と前年に比べ33,292千円の大幅な減少となっています。

人的被害は、昨年応急消火義務者1名が負傷しており、今年は応急消火義務者3名(内1名30日以内死亡)、消火活動中の消防吏員が1名が負傷しています。

(2) 出火原因 (第2表)

出火原因は「たき火」が9件と最も多く3割近くを占めています。次いで「その他」・「不明」が各5件、「たばこ」・「電気配線等」・「火入れ」・「放火の疑い」が各2件、「こんろ」・「煙突」・「灯火」・「焼却炉」が各1件となっています。(図3)

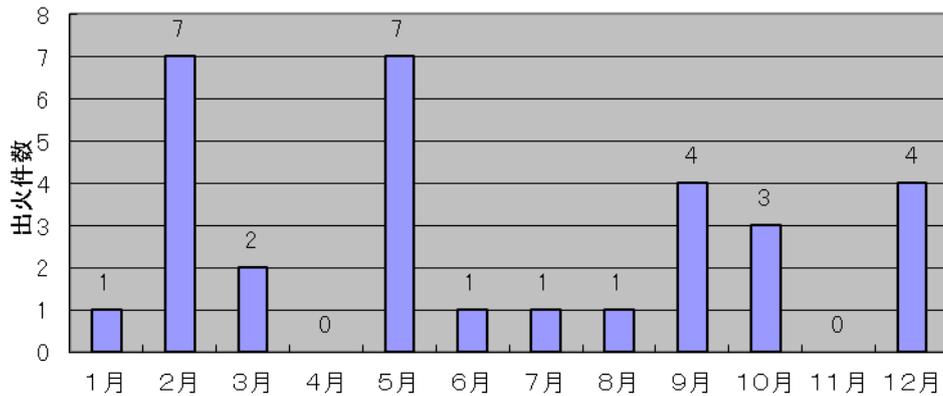
図3 出火原因割合(総件数31件)



(3) 月別の出火件数 (第3表)

火災件数を月別にみると、2月と5月が7件と最も多く発生し、次いで9月と12月が4件、10月が3件、3月が2件、1月・6月・7月・8月が各1件で、4月・11月は火災が発生していません。(図4)

図4 月別出火件数(総件数31件)



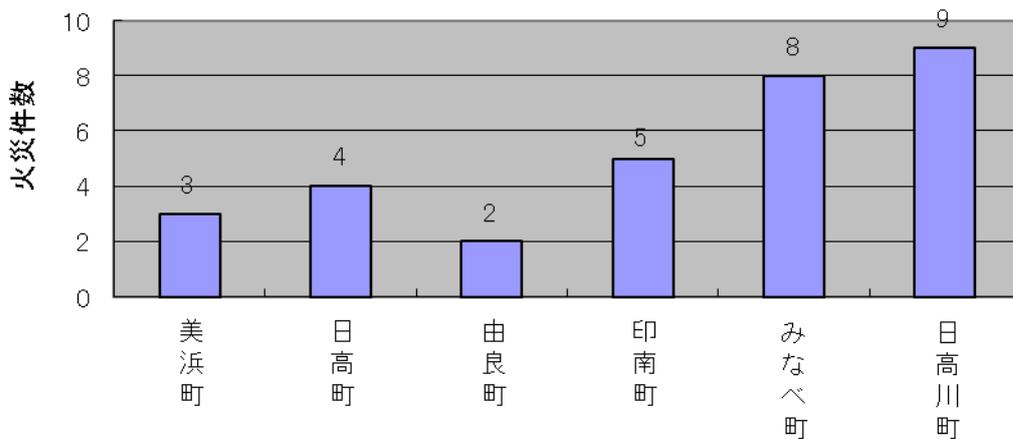
(4) 町別火災件数 (第4表・第5表)

火災件数を町別にみると、日高川町が9件と最も多く発生し、次いでみなべ町の8件、印南町の5件、日高町の4件、美浜町の3件、由良町が2件となっています。(図5)

出火率(人口1万人当たりの火災件数)でみると、日高川町の8.8が最も高く、次いでみなべ町の6.0、印南町の5.8となっています。

なお、管内全体の出火率は5.7で、平成28年中の全国の出火率(2.9)、和歌山県の出火率(3.6)を大きく上回っています。

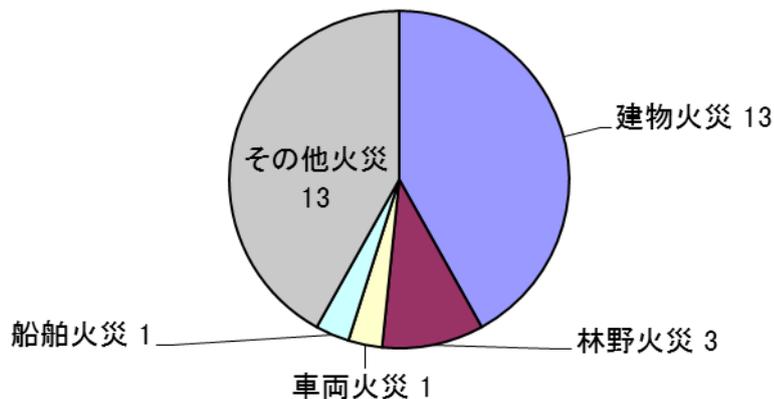
図5 町村別火災件数(総件数31件)



(5) 火災種別の割合 (第6表)

火災種別の割合についてみると、建物火災、その他火災が各13件 (各41.9%)で最も多く、次いで林野火災が3件 (9.7%)、車両火災、船舶火災が各1件 (各3.2%)、となっています。(図6)

図6 火災種別の割合(総件数31件)



(6) 季節別火災件数 (第7表)

火災件数を四季別でみると、冬期が12件 (38.7%)と最も多く、次いで春期が9件 (29.0%)、秋期が7件 (22.6%)、夏期が3件 (9.7%)の順になっており冬期から春期にかけての火災発生が約7割を占めています。

(7) 時間帯別火災発生件数 (第8表)

火災件数を時間帯別にみると、昼の13時から14時が5件と最も多く、次いで午前中の10時から11時の時間帯が4件、朝7時から8時、14時から15時の時間帯が各3件、夜中の1時から2時、昼の12時から13時、夕方の15時から16時、18時から19時、20時から21時の時間帯に各2件発生しており、4時から5時、8時から9時、9時から10時、17時から18時、21時から22時、22時から23時の時間帯に各1件火災が発生しています。

(8) 天候別火災発生件数 (第9表)

火災件数を天候別にみると、晴れた日に10件、雨の日に2件、曇りの日に19件発生しており、曇りの日の発生が全体の61%を占めています。

(9) 覚知別火災件数 (第10表)

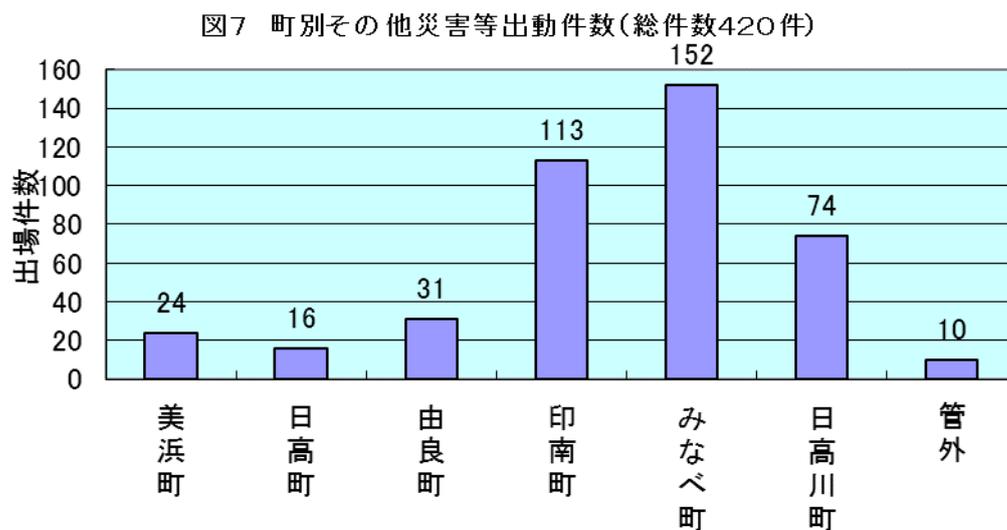
火災件数を覚知別にみると、消防専用電話 (119番通報) による通報が23件で全体の74%を占め、そのうち16件が携帯電話による通報となっています。

## 2 火災に準ずる災害の出動件数（第11表）

平成29年中における火災に準ずる災害（その他災害等）の出動件数は420件で、前年と比較して62件の増加となっています。

内訳は、「救急支援」による出動が364件（86.7%）と最も多くなっています。

町別では、みなべ町が152件と最も多く、次いで印南町113件、日高川町の74件となっています。最も少ないのは管外を除けば、日高町の16件となっています。（図7）



## 3 署所別の出動状況（第12表・第13表）

### (1) 火災の状況

火災の発生状況を署所別にみると、本署管内が13件（41.9%）と最も多く、次いで南部出張所管内が8件（25.8%）、中津出張所管内が5件（16.1%）、印南出張所管内が5件（16.1%）となっています。

### (2) その他災害等の状況

その他災害等の発生状況を署所別にみると、南部出張所管内が154件（36.7%）で最も多く、次いで印南出張所管内が123件（29.3%）、本署管内が89件（21.2%）、中津出張所管内が54件（12.9%）となっています。